

図書館利用者懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

<p>【対応状況・凡例】</p> <p>◎ すでに対応している項目</p> <p>○ 早急に対応を行う項目</p> <p>□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目</p> <p>－ 対応が困難な項目</p> <p>★ その他、上記以外のもの</p>			
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	指定管理者館を管理・指導する立場の光が丘図書館の職員は、図書館での勤務経験があるのか。	光が丘図書館の職員の中には、図書館経験者もいます。	★
2	職員研修館としての役割を持っていた石神井図書館に指定管理を導入した後、その役割はどこが持つのか。	中央館的機能を持つ光が丘図書館が、職員および図書館専門員の研修館としての役割を引き継いでいます。	◎
3	指定管理者制度を取り入れる一方で、その責任問題についてはどのように考えているか。	指定管理者制度を導入している図書館については、各館がそれぞれの責任に基づき運営をしているところですが、光が丘図書館が中央館的な役割を果たしているため、区立図書館全体の責任は光が丘図書館が担っています。	◎
4	貫井図書館の利用者懇談会に出席したが、美術館との建て替えに関する質問（どのくらいの期間使えなくなるのか、代替施設はあるのか等）に答えられていなかった。	再整備工事による休館期間等については、設計と併せて検討することとなるため、設計事業者を選定している段階では、明確なことはお答えできませんでした。なお、休館期間等については、決定後お知らせいたします。	□
5	対面朗読の朗読者がなかなか見つからないとき、登録しているボランティアに一斉メールやLINEを活用して朗読者を探すという方法をとってはいかがか。	電子媒体を用いた日程調整は、全員が同時進行で情報共有する必要があるため、専用アプリ等の使用が必要です。アプリ等の導入はシステムセキュリティ上困難なため、連絡方法は現状維持とし、今後効率的な方法を検討します。	－

6	<p>国が、図書館や学校図書館に拉致問題の本を充実させるよう指示をしたという内容の新聞記事を読んだ。図書館や学校図書館にそういう指示が届いているのか。</p>	<p>都や国からの通知については、全ての指定管理者館を含む区立図書館に転送しています。 本件も各区立図書館へ転送しておりますが、本通知に基づいて所蔵図書の内容を変更したという報告は受けていません。</p>	◎
7	<p>限定版のCDは、寄贈の受付をしていないのか。</p>	<p>ご寄贈受付はしておりますが、一般に流通しているものと同等外のCDは、審査の結果、受入不可となることがあります。</p>	◎
8	<p>同じ指定管理者の5館で映画上映会を同時に行っていた。いい事業に関しては、全館が協力してやっていただきたいと思うが、いかがか。</p>	<p>館によって施設の規模に差があり、事業によって事業者が協力してできるもの、一部の館で実施するものがあります。非来館型の事業形態も含め、今後の検討課題と捉えています。</p>	□
9	<p>練馬区内の図書館の、どこの館で何をやっているということが一覧で見られるようなホームページがあるといいと思う。</p>	<p>今後の図書館システムの更新に併せ、ホームページのリニューアルを検討します。</p>	□
10	<p>区立図書館の指定管理者には複数の民間の事業者が入っているが、それらの交流会みたいなものはあるのか。これら民間の事業者がどんな事業をするかということで競争関係になり、本来の図書館の業務がいい加減になると困る。また、図書館で勤務している方たちに負担がかかってくるのは、非常に問題があると思う。</p>	<p>図書館の情報交換の場として、運営連絡会や青少年事業関係での会議体、各館の館長が集まる館長会等を設けており、毎月あるいは複数月に1回、情報交換を行っております。そこでは、競争関係ということではなく、情報交換しながら協力して区立図書館を運営する体制となっております。</p>	◎
11	<p>システムの変更は、もう具体的なスケジュールはあるのか。リニューアルの前に、どういうところを変えてほしいか、意見を聴取してほしい。</p>	<p>図書館システムの更新は令和6年度以降を予定しております。本アンケートは、令和5年1月、各区立図書館で実施しました。</p>	◎
12	<p>指定管理を入れたことで、本当は優秀でカウンターに出るような人が、事務作業等で中に入る傾向になってしまう。カウンターには、どちらかというと、あまり慣れていない人がいることが図書館の問題だと感じる。</p>	<p>カウンター業務は図書館の大事な入り口であると考えており、指定管理者とも相談しながら、利用者の方にご不便をお掛けしないような運営となるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>	□

13	何か対面でできる本のイベントなどを企画していただけたらと思う。	「これからの図書館構想」に基づき、新たな取組を検討します。	□
14	大泉学園駅受取窓口には、買い物に来たお母さんが子どもを連れてよく来ているので、スタッフの人に「もっと子どもの本を置いていいのではないの」と言ったところ、光が丘図書館で用意したものを展示していると聞いたがそうなのか。	大泉学園駅受取窓口のスタッフが企画・選書し、光が丘図書館で確認・資料確保をしています。受取窓口のスペースには限りがあるため、これまで以上の展示は困難です。	—
15	貫井の図書館がしばらく休業となったときに、一体どこで世話人会ができるのだろうかという悩みがある。貫井図書館の視聴覚室の利用ができなくなったときに、区はどこを案内してくれるのだろうか。	工事期間中の視聴覚室の代替場所については、現在検討していますので、決定後お知らせいたします。	□
16	教育要覧の協力貸出件数と協力予約点数について、この数字は大体同じ数字にならないとおかしいと思うが、光が丘図書館だけ開きが倍になっている。これはどういうことか。	協力貸出件数は、区から他自治体に貸出した件数です。一方、協力予約点数は区が他自治体に予約した件数です。	◎